



とべだより

令和3年10月29日

11月号

横浜市立戸部小学校

学校教育目標： それぞれが飛べ みんなで翔べ ゆめいっぱい戸部

積み重ね

副校長 猪熊 憲一



その日は雨が降っていました。昇降口の前まで来ると、子どもたちは傘を閉じ、くるくると丸めて傘立てに傘を入れていました。8時10分になりました。教室前の廊下の流し場では、子どもたちが、せっけんを使って丁寧に手洗いをしています。

傘を丸めて傘立てに入れる。当たり前のことですが、ほとんど全員の子どもたちができています。そして手洗い。教室に入る前にせっけんをつけて丁寧に手を洗うことも当たり前のようにできています。当たり前のことがしっかりできる。これこそが、本当に身に付いているということだと思います。そして、このようなことが自然にできるようになるまでには、何度も何度も同じことを正しく繰り返してきたに違いありません。

時計の針は、8時15分を過ぎました。このころになると中学年や高学年の子どもたちはほとんど教室で席についています。そして端末に届けられている担任からの連絡を見るなどした後、ドリルやプリントの問題、読書などに静かに取り組んでいます。低学年は、育てている球根の世話などで忙しく動いています。そして8時35分からの朝の会へと続いていきます。

学年や学級、曜日によって多少の違いはありますが、こうして戸部小学校の一日が始まります。朝のほんの15分程度の時間ですが、1時間目の授業が始まる前にこのような活動を毎日地道に繰り返し、積み重ねることで、粘り強く取り組む力などが身に付き、学習内容の定着へとつながっていきます。そして、それらの力は、やがてしっかりと身に付き、本当の力になっていくと思います。

学年演技や徒競走、応援団、リレーなど、とべスポに向けての練習も始まっています。段階を追って少しずつ理想の姿に向けての練習を積み重ねています。このような取組を通し、子どもたちには、技能や技術などを獲得していくとともに、粘り強く取り組む力をしっかりと身に付けていってほしいと思っています。